

■ EARTHLY PARADISE 2005 HIRO YAMAGATA 修復作業

神戸市 第一突堤A号 展示会場 2005.10.3(月)~10.12(水)

世界的に著名なアーティスト、ヒロ・ヤマガタ氏のアートイベント「EARTHLY PARADISE」で展示するペイントクラシックカーの修復加筆作業に、美術学科の学生が中心となって参加しました。

■一般公開 2005.11.1(火)~12.25(日)
平日12:00~21:00/土日祝11:00~20:00 ※水曜日休館 11/23を除く
詳しくは078-391-1347まで
入場料一般700円・学生500円・小学生300円 小学生未満は無料



世界的に有名なヤマガタ先生の作品を手仕事で修復するという内容でしたが、自分自身の作品を制作するときとは違う緊張感があり、大変貴重な経験でした。同時に学ぶ事も多かったと思います。手を触れるどころか写真も撮ってはいけない作品であったので、改めて重要な役割をこなせた事に感激しました。
【文:中山萌(洋画3年)】

■ 美術学科在学生がアートパフォーマンスを開催 川西市 アステ川西 2005.10.1(土)・2(日)

川西市のアステ川西で、週末を利用したイベントを本学美術学科の学生らが行いました。作品の展示や空間の演出、観客を巻き込んだ楽しいパフォーマンス、さらにはジャズミュージックも披露しました。



■ デッサン会について



美術学科では、各学生の画力アップと親睦を図るために自由参加型の「デッサン会」を毎週1回、放課後に開催しています。美術学科の全てのコースの学生や基礎造形専攻の大学院生を交え、多数の学生が参加しています。モチーフはヌードモデルや石膏像、静物、基本形態など様々で、描き方も学生によって個性豊かです。

■ ミー・トンイン(大学院博士課程)水墨画の芸術



福井新聞で大学院博士課程のミー・トンインさんの水墨画を描く様子が紹介されました! 2005.10.5(水)

■ 新天地ウクライナでの AU国際アート展

ウクライナ キエフ ムゼイ(美術館) 2005.11.26(土)~12.2(金)

美術手帖9月号に「嶋本昭三と100人の日本人イタリアアートに突撃」の記事が掲載され、あちらこちらで反響がありました。特に100人というのが世界中で驚かれています。世界の美術史上にも無い新しい波といえるでしょう。そこに、ウクライナ在住のAUメンバー小野氏がこの記事に感激し、今度はウクライナで大掛かりなアーティスト交流を行い、「親日的日本語を話せる人が多い美男美女の国で展覧会を」という事になりました。出品内容は現代美術ですが、ウクライナの美男美女を意識して「人間アート」も推薦します。つまり、現地の美男美女に様々な作品を身に付けてもらい、一緒にパフォーマンスをしたり映像に残したりするといったものです。そのほか色々な発表方法を予定しています。(AU...現代美術協会名) AUに在籍しているメンバーの中には、美術学科の在学生や卒業生も含まれています。(文:嶋本昭三)

■ 個展・グループ展情報

■ 松井コーヘー(02年卒)絵本原画展

福岡 マウンテンルート 名古屋 マウンテンルート
2005.9.1(木)~9.13(火) 2005.10.3(月)~10.13(木)

■ 第2回 野村素生(大学院修士課程)

油彩画展 -鳥達の世界-
池田市立ギャラリー いけだ 2005.10.12(水)~10.17(月)

■ 八木智弘(洋画3年)個展 糸会展

神戸市 ART CAFE CHIM CHIM CHERRY
2005.10.3(月)~10.16(日)

■ 菅谷舞(00年卒)油彩展

池田市立ギャラリー いけだ 2005.11.9(水)~11.14(月)

■ choukokuten(彫刻コース学生のグループ展)

川西市立ギャラリーかわにし 2005.10.19(水)~10.24(月)

★美術学科の卒業生で、中学校の美術教諭をされている山野聖一さんからお便りが届きました★



大学の皆さまお元気ですか?

大学のこと最近よくテレビCMで見るようになり、授業のあき時間に大学のホームページを開いてみました。ホームページを見て、私が在学していた時代に比べ、様々な学科やカリキュラムがあり、厚みも増していることに非常に驚きました。今の学生が羨ましいかぎりです。いま思えば学生時代という時間はとても素晴らしい、制作に没頭できるいい時代であったと思います。現在、私は八日市市立聖徳中学校で美術を指導して5年目になります。着任当時は学校行事におわれ、自分の自由な時間は無く、制作も減り職場と自宅の往復の毎日で大変でしたが、様々な課題と向き合うことで、自分自身の物の見

方や考え方も変わり、大きく成長することができたように思えます。新制作には京都作家展があり、そこだけは毎年出しているのですが、来年は本展に130号2点を出品する予定です。3年前から八日市市の美術協会会員にもなりました。市町村合併で八日市市から東近江市になったので、今年は東近江市展が第1回目となり、2年ぶりに出す予定で描いています。八日市市展時代は5年連続特選や朝日新聞社賞などももらっています。滋賀県展の審査員を今年は福本先生がしておられてビックリしました。また来年も福本先生が審査員なら出してみようと思います。大学のほうにはなかなか行けませんが、またお伺いします。(文:山野聖一)

秋の造形展 宝塚キャンパス 2005.9.17(土)~9.19(月)



■ 金賞



「海に潜って見えたもの」金子江里(絵画4年)



「ばーばっばばば」松田明久(洋画3年)



「ウッディのかくれんぼ」土本愛子(洋画3年)



「顔」田原麻衣(日本画3年)



「キミにタッチ」川井智子(彫刻4年)



「君の笑顔をまもるために」高田治(彫刻3年)

■ 銀賞

【美術史・美術理論】
四元晴美 (3年)

【日本画】
今川真理子 (3年)
梶原美紀 (2年)

【洋画】
阿部堅一 (4年)
新谷友佳子 (3年)
田村絵梨子 (2年)
多養麻子 (1年)
吉村沙耶香 (1年)

【彫刻】
中川つむぎ (4年)
榎下町祥吾 (3年)
宗光美香子 (2年)
本田洋介 (1年)



「オツカレサマ」神谷恵(彫刻2年)



「バロン」上西琢也(彫刻1年)

■ 佳作

【美術史・美術理論】
井上幸恵 (3年)
岡崎祐子 (3年)
北村 藍 (2年)
李 鈴子 (2年)
石動伊緒奈 (1年)
池尻篤志 (1年)
七理 修 (1年)
近藤雄介 (1年)
峯森 悠 (1年)
小島雅士 (1年)

【洋画】
植田祐輔 (4年)
古久保 希 (4年)
青井裕子 (4年)
山本晃子 (4年)
大川加寿美 (4年)
河 陽 順 (4年)
久保田友美 (4年)
林 恭子 (4年)
西川竜司 (4年)
金子江里 (4年)
杉本あかり (4年)

久米史泰 (4年)
権 基 英 (3年)
中山 萌 (3年)
八木智弘 (3年)
小和田隆 (3年)
小園陽佑 (3年)
西本 翔 (3年)
竹下泰裕 (3年)
村永光昭 (2年)
判香奈美 (2年)
三上佳寿子 (2年)

野口隆弘 (2年)
安井思生 (2年)
平田育子 (2年)
谷田広志 (2年)
安田りさ (2年)
山脇 翔 (2年)
来田亜由美 (1年)
真鍋紗季 (1年)
渡邊あかね (1年)
小山泰弘 (1年)

【日本画】
牧野菜生 (3年)
石川澄美 (2年)
萩田奈津子 (2年)
小林拓海 (1年)
阪田智世 (1年)

【彫刻】
櫻井麻衣 (4年)
浅野雄太 (3年)
阪梨 渡 (3年)
島津 功 (3年)
小林みちる (2年)
有井友美 (1年)
西村大喜 (1年)



芸術の秋！ 在学生&卒業生

■第37回日展 日本画部門

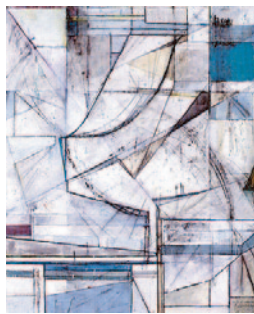
東京都美術館 2005.11.2(水)~11.24(木)
 大阪市立美術館 2006.2.25(土)~3.26(日)
 今年3月に卒業した松村聡江さんが、初出品で初入選されました！



「夜行便」 松村聡江(05年卒)

■第69回新制作展 洋画部門・彫刻部門

東京都美術館 2005.9.18(日)~10.3(月)/京都市美術館 2005.10.21(金)~10.30(日)
 洋画部門では、3回生の木村俊介さんが初出品初入選し、卒業生の今崎順生さんや於保真理子さん、彫刻部門でも同じく卒業生の田中和之さんが入選を果たされました。



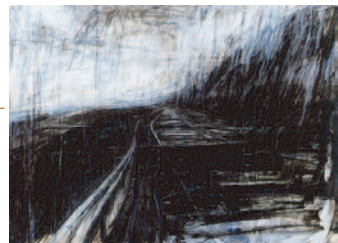
「worksD-report」
木村俊介(洋画3年)



「君をうたう」
於保真理子(04年卒)



「櫓雲」 田中和之
(04年大学院修士課程修了)



「1000times」 今崎順生(00年卒)

■地球工房ネオジャパネスク入賞作品展 大阪市湾岸通ギャラリー 2005.10.19(水)~10.23(日)

大阪市ゆとりとみどり振興局文化振興課主催の展覧会公募。美術手帖で広告し、多数の応募者の中、入賞者6名枠内に、4名の美術学科卒業生や在学生も入賞されました。入賞者には広いスペースを1ヶ月貸与され、制作費20万円が提供されました。【角野充(03年卒)／高田雄平(04年卒)／松田明久(洋画3年)／八木智弘(洋画3年)】



■第40回伊丹市展 伊丹市立中央公民館 2005.10.30(日)~11.6(日)

日本画コース学生の西浦葉月さんと石川澄美さんが、それぞれ議長賞、教育長賞を受賞されました！



議長賞
「視線」 西浦葉月(日本画2年)



教育長賞
「周史」 石川澄美(日本画2年)

■第49回宝塚市展 洋画部門

宝塚市ソリオホール 2005.9.29(木)~10.4(火)
 洋画コースの小和田隆さんが奨励賞を受賞！



奨励賞
「故郷の想い出」 小和田隆(洋画3年)

■AU選抜展「ビエンナーレの光」 大阪市 ギャラリー・ラ・フェニーチェ 2005.9.22(木)~10.3(月)

2005年イタリア・ベネチアビエンナーレに出品された作品の選抜展覧会。洋画コース教授の嶋本昭三先生をはじめ、美術学科の卒業生や現役学生も多数参加しました。



宝塚造形芸術大学大学院サテライト(梅田)より徒歩5分の地に「ラ・フェニーチェ」という画廊がある。そのオーナーの小谷泰造氏から僕のほうに「大阪文化の発展」を依頼され、大阪有数の大ギャラリーを無償で提供して頂いた。展示に当たっては部屋を暗くして変わった照明を作品に当てるといった実験的なものを発表した。大阪から新しいアートの発祥地となろうとする、その第一弾である。(文：嶋本昭三)

芸術の秋！ 教員

■第37回日展 東京都美術館 2005.11.2(水)~11.24(木)/大阪市立美術館 2006.2.25(土)~3.26(日)

■会員出品



「芽吹く頃」 曲子明良(日本画コース教授)



「船路の果て」 山田毅(日本画コース講師)



「雲合い」 西敏彦(日本画修復講師)

■第69回新制作展 東京都美術館 2005.9.18(日)~10.3(月)/京都市美術館 2005.10.21(金)~10.30(日)

■会員出品



「Fajans」 西田周司(洋画コース教授)



「ハートに爆撃」 渡辺侑三(講師)



「5分割された平面的なChaos(或いはPangaea)」
市川悦也(彫刻コース教授)

■第60回記念 行動展

東京都美術館 2005.9.1(木)~9.16(金)
 大阪市立美術館 2005.9.27(火)~10.2(日)

■会員出品



「中国寸描-西安・洛陽」 高井道夫(洋画コース教授)

■Atsuya TOMINAGA ninguen(L'homme)

ESPACE CULTUREL BERTIN POIRÉE (フランス・パリ)
 2005.9.22(木)~10.1(土)

富長敦也先生(彫刻コース講師)がフランスの画廊の企画で招待され、パリ郊外500キロの街で作品を制作され、パリで石彫や版画の作品を展示・発表されました。



■アジアグラフィック 愛・地球博展

愛・地球博 長久手会場 2005.9.15(木)~9.17(土)

日本人を中心に中国、韓国を合わせ約50名の作家による、アジア最高水準のCG作品展。木村智博先生(講師)も参加されました。



■中国黄河取材 2005.8.

洋画コース教授・中村貞夫先生が作品制作の取材のために黄河へ行かれました。



昨年に続き、今年の夏も中国で過ごした。陕西省と山西省の境の黄河流域写生・取材のかたわら、内陸各地に足を伸ばして黄土高原、長城、石窟などを巡った。北京から4WD車で走る。二人のドライバーが2時間位毎に運転を交代する。私が持参した詳細な道路地図と土地の人の情報が頼りである。北京から200キロほど離れたと、もう方言がきつくと、聞き取りにくいと言う。旅の終わりに訪れた麦積山石窟は、その名の通り麦わらを積み重ねたような形の山の岩壁をくり抜いて洞窟を作り、塑像の仏像が置かれている。急な鉄格子をよって拝観する。人の手による破壊の後が無いのは嬉しい。中国人の画家が洞窟内で天井壁画の寸大の模写をしていた。西安へ300キロほど走り、源流から河口まで延べ71日間の黄河取材を終える。(文：中村貞夫)